

学校だより

協働、
創造、
感動を



通常登校、通常授業が再開されました

皆様に感謝申し上げます

国の緊急事態宣言が9月30日で解除されたことに伴い、学校生活も再開できることになりました。これまで多くの制限の中で教育活動を継続できたのも、ご家庭のご理解・ご協力の賜物です。

とはいえ、感染拡大が終息したわけではないので、手放して喜ぶわけにはいきません。変異株の感染が多く確認されており、まだまだ予断を許さない状況ですので、学校では、引き続き感染症予防策にしっかりと取り組んでいきたいと思っております。また、ご家庭でも毎日の健康観察を欠かさずに行うと共に、発熱等の症状が見られた場合には速やかに医療機関を受診するよう、お願いいたします。

給食も再開されました

臨時休業中は、昼食の用意について、ご家庭のご協力、誠にありがとうございました。9月27



日の分散登校の日から給食が再開され、改めて給食のありがたさを感じることができました。

学校給食の起源は、1889年（明治22年）に現在の山形県鶴岡市の小学校だとされています。当時の子供たちにとって、栄養改善に重要な役割を担っていた給食は、今でも貴重な時間となっています。現在、「正面を向いて黙々と食べる」というスタイルが定着してはいますが、以前のように会話を楽しみながら、給食を味わうスタイルに戻れるよう、感染防止に努めてまいります。

ハイブリッド授業を実施しました

臨時休業中であっても、お子様の学びの保障のため、授業を継続してまいりました。特に分散



登校時には、対面授業とオンライン授業を並行して行う「ハイブリッド授業」を行いました。



対面での授業内容を、各家庭のタブレットや他教室のスクリーンに同時に映し出し、学習を進めます。もちろん、対面していない生徒も自由に発言をすることが

できるため、問いかけに答えたり、質問したりする場面もありました。「GIGA スクール構想」の実現に向け、着実に進歩しています。

心と心をつなぐ「あいさつ」を

ある朝、職員室に嬉しい一本の電話が入りました。「(一中の) 男の子が、挨拶してくれた。最近(自分が)元気がなかったが、挨拶してくれたおかげで、元気が出た！」という、地域にお住いの方からのお話でした。本年度に入り、地域の方々から「あいさつ」についてお話をいただく機会が増えました。たった一言かもしれませんが、しかしその一言が、相手の心に届き、相手の心を温めます。

地域の方々の、一中生をよりよい大人へと導きたいという「思い」に応えられるよう、今後も支援してまいります。



<写真提供：フォトライフ様>

水戸一中、東日本へ

東関東吹奏楽コンクール 中学校B部門

9月18日、ザ・ヒロサワ・シティー会館において実施された、第27回東関東吹奏楽コンクールの中学校 B 部門(30人以内)において、吹奏楽部が金賞を受賞しました。

このコンクールには、茨城・栃木・千葉・神奈川の4県から35校が参加しました。審査の結果、そのうちの6校が東関東代表として10月9日に札幌市で行われる東日本学校吹奏楽大会に出場します。

水戸市の代表から、茨城県の代表、そして東関東の代表へと歩を進める吹奏楽部の皆さんには、自分を信じ、仲間を信じ、練習の成果を十分に発揮してきてほしいと思います。

※第6号に掲載した、第61回県吹奏楽コンクールの写真も、フォトライフ様からのご提供です。